

委員会議事概要

1 委員会名	令和5年度 第6回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和5年9月8日(金) 14:00~15:31
3 開催場所	県庁6階第2特別会議室
4 出席委員 (定数15名中11名)	<p>(会場)</p> <p>上原亀一会長、赤嶺博之委員、大城和夫委員、当真 聡委員、八前隆一委員、天方 徹委員、城間恒浩委員、新立弘子委員</p> <p>(WEB)</p> <p>池田 博委員、大谷 健太郎委員、藤田喜久委員</p> <p>(欠席)</p> <p>山川彩子委員、山内得信委員、伊良波宏紀委員、大嶺嘉昭委員</p>
5 議事録署名人	城間恒浩委員、大城和夫委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	浮魚礁の承認申請について
【要旨】	流失および更新による再敷設が計4基(与那城町漁協1基、知念漁協1基及び久米島町2基)、再承認申請が4基(国頭漁協)あり、原案通り承認された。
【特記事項】	浮魚礁の再承認申請にあたって、国頭漁協の中層4号については、魚探により確認された礁体の水深が10mと非常に浅く、魚影などと誤認している可能性もある。仮に礁体の設置水深が10mであれば、航行安全上問題もあるため、再調査を指示することを承認の条件として付した。
(2) 第2号議案	令和5年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の提出議題について
【要旨】	令和5年11月に佐賀県で開催される標記会議において、本県からは昨年続き、「太平洋クロマグロ(大型魚)の適正な資源管理について」、「日台漁業取決めの見直しについて」、「日中漁業協定の見直しについて」および「違法操業の取締強化に向けた対応について」の4件について国への提案議題として提出する事務局案について、原案通り承認された。
【特記事項】	池田委員より、日中漁業協定の見直しについて進展が見られないことから、全漁連からもより強く交渉して欲しいとの意見があり、上原会長から全漁連とも情報共有していく旨発言があった。

(3)協議1	ソデイカの採捕に係る委員会指示について
【要旨】	令和5年漁期の操業ルールについて定めるソデイカの採捕に係る委員会指示について、前年度と同様に、漁期は12月～翌5月まで、旗数は、予備を含め50マイル以内30本、50マイル以遠50本以内とする指示案について、原案通り承認された。
【特記事項】	指示案に付随して提案した11月の奄美海区における操業自粛や、旗数制限の再周知に係る注意喚起文書の発出については、内容を継続して審議することとなった。
(4)報告事項1	くろまぐろ(大型魚)の知事管理漁獲可能量の変更について
【要旨】	本年度のくろまぐろ漁期(後期)が8月1日から開始されたことから、前期漁期の余剰枠の繰越手続きを行った旨報告した。
【特記事項】	特になし。
(5)報告事項2	奄美海区との意見交換会について
【要旨】	令和5年8月22日に、鹿児島県奄美市において、奄美大島海区ならびに喜界島の漁業関係者と、ソデイカ漁業に関する意見交換会を実施した概要について報告した。
【特記事項】	八前委員から、1W無線による奄美大島海区の漁船との連絡体制構築について、今漁期に間に合うよう、事務局間で調整しておくよう指示があった。
(6)報告事項3	全漁調連・要望活動結果について
【要旨】	令和4年度に全漁調連を通して中央省庁等に要望した内容(第2号議案の内容と同じ)に対する回答状況について報告した。 -
【特記事項】	特になし。